

## 61<sup>th</sup> 茨城ヘアフェスタ テクニック&モード



開催日時 令和2年5月12日(火曜日)

S T A R T PM 13:00～(予定)

会場 茨城県理容会館

主催 茨城県理容生活衛生同業組合

## \*\*\*大会要項\*\*\*

1. と き 令和 2 年 5 月 12 日 (火)
2. と ころ 茨城県理容会館 (水戸市常磐町 2-3-37)
3. 競技種目

(今大会もすべてマネキン競技)

- 【第 1 部門】 Barber Style (バーバースタイル)
- 【第 2 部門】 レディースカット・パーマスタイル「Leap」
- 【第 3 部門】 メンズカット・パーマスタイル
- 【第 4 部門】 クラシカルカットバリエーションヘア

★ マイスタースタイリストアワード・ジュニア部門・世界大会種目

(全国大会規定に準じて実施します。問い合わせは県組合まで)

4. 競技時間

- 【第 1 部門】 Barber Style (バーバースタイル)  
カット・セット 35 分
- 【第 2 部門】 レディースカット・パーマスタイル「Leap」  
カット、セット 40 分
- 【第 3 部門】 メンズカット・パーマスタイル  
カット 20 分、セット 10 分
- 【第 4 部門】 クラシカルカットバリエーションヘア  
セット 35 分

5. 表彰

各部門ごとに上位 3 名 (優勝・準優勝・3 位)

(但し、出場者参加人数により変更もある。)

6. 出場資格

全部門、理容師免許を取得している者で、茨城県理容組合員及び従業員。もしくは理容学校生であること。

7. 出場申込

県組合所定の出場申込書に所定事項を明記し、各支部長・県事務局に提出すること。また同時に出場料を収めること。

8. 大会出場料 5,000円（学生は無料）

9. 申込書配布

令和元年11月1日～令和2年3月1日

配布先 支部長又は県講師等（理容茨城1月号に掲載）

10. 申込締切日

令和元年3月24日（支部長必着のこと）

支部長はまとめて3月31日までに県組合に申込すること。

11. マネキン (1) 各部門とも下記に規定されたものとする。

【第1部門】 ① マネキン（メンズ）は自由

② ヘアは総体的にブランク状が確認でき、2cm以上カットできるマネキンであること（但し、刈り上げ部分の長さは1cm以上であること）。

③ ヘアカラーは自由（但し、落ち着いた色彩に限る）

④ カット以外の事前処理は自由。

⑤その他は人間モデル競技（全国大会）に準ずる

【第2部門】 マネキン（レディス）は自由

① モデルは女性。

② ヘアは総体的にブランク状が確認でき、2cm以上カットできるマネキンであること。

③ 「Leap」が提案するパーマ又はアイロンパーマを施していること。

④ 「Leap」が提案するヘアカラーを施していること。

⑤その他は人間モデル競技（全国大会）に準ずる

【第3部門】 ① マネキン（メンズ）は自由

② ヘアは総体的にブランク状が確認でき、2cm以上カットできるマネキンであること。

③ パーマが施されていること。

④ カット以外の事前処理は自由。

⑤その他は人間モデル競技（全国大会）に準ずる

【第4部門】 ① マネキンは下記の指定マネキンから1体を用意すること

（三矢 No.503、No818 レジーナ No.655BS、No.MF-006）

- ② カット済みのもので、マネキン審査を受けること
- ③ ヘアは総体的にブランク状が確認できること。
- ④ ヘアカラーリングを施していること。

## 12. その他

- ・各種目競技において出場参加人数が少数の場合その種目のみ中止する事があります。
- ・関東甲信越大会出場資格種目は第1/2/3部門となります。
- ・食事等（飲食物）は個人で用意して下さい。
- ・会場内土足禁止になっておりますので、必ず上履きをご持参下さい。また応援者・見学者にもお伝え下さい。
- ・喫煙に関してはマナーを守り喫煙所をお願い致します。
- ・駐車場は近隣有料駐車場をご利用下さい。

### \*\*\* 競技事項 \*\*\*

## 1. 競技種目に関する事項

（マネキン）

### (1) 各部門共通

- ① 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを装着すること。
- ② マネキンのボディーと衣装は自由。
- ③ マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うものとする。
- ④ その他、時間、用具、整髪料等すべては人間モデル競技に準ずる。

## 【第1部門】 Barber Style（バーバースタイル）

### (1) 競技規定

- ① カットは総体的に2cm以上行うこと  
（但し、刈り上げ部分はその限りではない）。
- ② クリッパーの使用は後頭下部に限り可とする。  
（但し、ミニクリッパー、トリマーは使用不可）
- ③ 刈り上げを活かした男性らしいスタイルであること。
- ④ サイド・バックには短く刈り込まれた美しい色彩と整った切断面が表現されていること。
- ⑤ ネックシェーブが施されていること。
- ⑥ 仕上がりは、世界的なトレンドを感じさせる男性らしさを強調したクラシックなスタイルであること。
- ⑦ バリアート、レザーアートは施さないこと  
（但し、ハードパートは可）。

⑧ ヘアスタイルに合わせて衣装をコーディネートすること。

(★衣装は県大会は必要ありません)

(2) 競技時間 カット・セット 35分(但し、開始25分以内にセットに入っては

ならない)

(3) 用具 自由。

(4) 整髪料 自由。

### 【第2部門】 レディースカット・パーマスタイル「Leap」

(1) 競技規定

① カットは総体的に2cm以上行うこと。

② アスレジャーファッションとモデルの個性にあわせた表現がされていること。

③ 「Leap」が提案するマルチレイヤーカットにより、モデルにマッチしたフォルム、長さ設定がされたスタイルであること。

④ 「Leap」が提案するコールドパーマ又はアイロンパーマ技術を施し、躍動感ある自然で自由な動き、ハネ感を表現すること。

⑤ 前髪、襟足の長さ、毛束の方向性、耳かけなど仕上がりは自由。モデルの日常、ライフスタイルを考慮したデザイン表現であること。

⑥ 「Leap」のデザインを活かすヘアカラーが施されていること。

⑦ 「Leap」のコンセプトを取り入れたトータルコーディネートすること。

(2) 競技時間 カット、セット 40分(開始15分以内にセットに入ってはならない)。

(3) 用具 自由。

(4) 整髪料 自由。

### 【第3部門】 メンズカット・パーマスタイル

(1) 競技規定

① カットは総体的に2cm以上行うこと。

② 時代性を取り入れた自由なパーマ表現がされているかトレンドスタイルであること。

③ パーマスタイルにハイトーンカラーを組み合わせたデザイン性のあるヘアスタイルであること。

④ 仕上がりはパーマやカラーを効果的に取り入れつつ、薬剤などによるダメージを感じさせない質感のスタイリングであること。

⑤ モデル・ヘアデザイン・衣装の選定にストーリー性があること。

(★衣装は県大会は必要ありません)

- (2) 競技時間 カット 20 分（ドライヤーの使用可、ブラシ類は不可）、  
セット 10 分（カット可）。
- (3) 用具 自由
- (4) 整髪料 自由

#### 【第 4 部門】クラシカルバックバリエーションヘア

##### (1) 競技規定

- ① 伝統的なクラシカルカットによる美しい刈り上げとファッション性のあるスタイルであること。
  - ② フロントのデザインは自由。
  - ③ フロントデザインやカラーリング等、トータル的に調和がとれたスタイルであること。
  - ④ 競技中のスタンドクランプ等の使用は認めるが、競技終了時には必ずテーブルに固定のクランプにマネキンを装着し、仕上がり審査を受けること（クランプは持参すること）。
  - ⑤ マネキンのボディーと衣装は自由。
  - ⑥ マネキンのボディー、衣装の着用、仕上がり審査時の角度の調整等すべては、競技時間内に行うこと。
- (2) 競技時間 カット、セット 35 分（時間配分は自由）。
  - (3) 用具 自由。
  - (4) 整髪料 自由。

#### 2. 各部門共通禁止事項

- ① 競技準備時間中及び競技終了後にモデルに触れること。
- ② ヘアアクセサリ、つけ毛等をモデルに装着すること。
- ③ カラーズプレー、カラーパウダー及びそれに類似するものを使用すること。
- ④ 電気器具を複数台コンセントにつなぐこと。

#### 3. 刈布・タオル等の取扱い

各部門ともすべて刈布、タオルは競技開始の合図後につけること（但し、マネキン競技については、刈布、タオルの使用は自由）。

#### 4. 失格事項

次に掲げる項目に該当する場合は失格とする。

- ? 所定の技術及び髪型に適合しない場合。
- ? 競技時間を超過した場合。
- ? 所定の用具、整髪料以外のものを使った場合。
- ? 競技終了後、修正を行った場合。
- ? モデル審査を受けていないモデルを使った場合。

- ?モデルに傷を与えた場合。
- ?各部門共通禁止事項を守らない場合。
- ?刈布、タオルをつけていない場合（マネキン競技を除く）。
- ?競技完了の表示を行わなかった場合。
- ?監視委員の指示に従わなかった場合。

## 5. 競技完了の表示

各部門ともすべて競技完了の表示は、マネキン競技で刈布、タオルを完全にとりはずし、は、一步後方に退いた後、手を挙げるのみでよい。

### \*\*\* 審査事項 \*\*\*

#### 1. 審査委員

審査委員は若干名とし、うち1名が委員長、1名が副委員長にあたり、それぞれ次により分担し審査業務を行うものとする。

- (1) 委員長 審査委員を代表し、審査全般を監理するとともに、審査表（モデル審査表を含む）をそれぞれとりまとめ、精算委員長に提出するほか、この審査事項に定める以外とくに必要とする事項について定め、これを行う。
- (2) 副委員長 審査委員長を補佐し、審査委員長に事故ある時はその職務を代理する。
- (3) 委員 審査事項に定められた業務を行う。

#### 2. 審査結果の発表

審査結果に関する発表は、すべて審査委員長がこれを行う。

#### 3. 審査要項

〈審査の基準〉

##### 【第1部門】 Barber Style（バーバースタイル）

- ① 刈り上げを活かした男性らしいスタイルであるかをみる。
- ② サイド・バックには短く刈り込まれた美しい色彩と整った切断面が表現されているかをみる。
- ③ ネックシェーブが施されているかをみる。
- ④ 仕上がりは、世界的なトレンドを感じさせる男性らしさを強調したクラシックなスタイルであるかをみる。
- ⑤ バリアート、レザーアートが施されていないかをみる。

##### 【第2部門】 レディースカット・パーマスタイル『Tlish』

- ① アスレジャーファッションとモデルの個性にあわせた表現がされたスタイルであるかをみる。
- ② 「Leap」が提案するマルチレイヤーカットにより、モデルにマッチ

したフォルム、長さ設定がされたスタイルであるかをみる。

- ③ 「Leap」が提案するコールドパーマ又はアイロンパーマ技術を施し、躍動感ある自然で自由な動き、ハネ感を表現されているかをみる。
- ④ 「Leap」のデザインを活かすヘアカラーが施されているかをみる。
- ⑤ 「Leap」のコンセプトを取り入れたトータルコーディネートであるかをみる。

#### 【第3部門】 メンズカット・パーマスタイル

- ① 時代性を取り入れた自由なパーマ表現がされているかトレンドスタイルであるかをみる。
- ② パーマスタイルにハイトーンカラーを組み合わせたデザイン性のあるヘアスタイルであるかをみる。
- ③ 仕上がりはパーマやカラーを効果的に取り入れつつ、薬剤などによるダメージを感じさせない質感のスタイリングであるかをみる。

#### 【第4部門】 クラシカルバックバリエーションヘア

- ① 伝統的なクラシカルカットによる美しい刈り上げとファッション性のあるスタイルであるかをみる。
- ② フロントデザインやカラーリング等、トータル的に調和がとれたスタイルであるかをみる。
- ③ ローゾーンにおけるクラシカルな美しいカット技術（色彩のある刈り上げ）が表現されているかをみる。

#### 【モデル審査】

大会要項の11.マネキンの項に記載されている事項に適合しているかどうかをみる。

モデル審査において疑義のあった場合は、マネキン競技については、選手入場後、競技エリア内で伝達する。

#### 4. 審査時間

各部門とも30分以内とする。（但し、モデル審査時間を除く）

#### 5. 審査委員打合せ

大会前に決定された日時で開催される審査委員打合せに出席しなければならない。

#### 6. 採点の方法

- (1)採点はすべて100点満点制とし、所定の審査表により行う。
- (2)得点数が同じときは、審査委員長がその順位を決定する。



(委員長の採点は精算に加えないものとする)

#### 7. モデル減点

モデル審査はその公正を期するため、5点以内のモデル減点を行うことができるものとする。

#### 8. 審査表の取扱い

(1)審査委員は、各審査終了後速やかに審査表(モデル審査表を含む)を審査委員長に提出するものとする。

(2)不完全な審査表があった場合、審査委員長はその審査委員の採点をその部門を通じて無効とする。

(3)審査委員長は、審査終了後速やかに審査表(モデル審査表を含む)を精算委員長に提出するものとする。

#### 9. その他

タイム票の取扱いは次によるものとする。

(1)タイム係は、タイム票に各選手の競技時間を正確に記録し、タイム係長に提出するものとする。

(2)タイム係長はタイム票をとりまとめ、審査委員長に提出するものとする。

### \*\*\* 選手の留意事項 \*\*\*

#### 選手の留意事項

1. 選手は大会の主旨をよく理解し、競技の勝敗にとらわれることなく、理容業の本質をわきまえ、消毒衛生の遂行並びに容姿、態度等に十分留意すること。

2. 選手は大会要項及び競技事項に定められた事項を順守すること。

3. 選手は競技事項にもとづく用具のほか、刈布、タオルを持参すること。

4. マネキンを競技出場前の所定の時間に持参し、モデル審査を受けなければならないので、モデル審査を受ける際に毛髪を水スプレーで濡らすので、選手はタオルを持参しマネキンの横に置くこと。衣装を付けない状態でモデル審査を受けること。

5. モデル審査の結果に対し不服のある選手は、出場を取り消す場合がある。

6. 選手の椅子番号は大会当日、競技種目ごとに発表する。

7. 選手の器具等の事故は、選手の責任とする。

8. 選手は大会当日の「表彰式」にユニフォームを着用し参加すること。

9. 選手は競技中に手首から指先に一切の付属品を付けないこと。但し、取り外すことが困難な場合、競技会場において監視委員に申告すること。

10. 器具は床の上に置かないこと。

11. 競技中に時計(タイマー)を使用する場合は、アラーム等、音を出

さないこと。

**\*\*\*その他の事項\*\*\***

ここに定める以外に、大会運営について必要な事項は、全国理容競技大会運営規程、全理連関東甲信越理容競技大会運営規程及び茨城県理容競技大会運営規程によるものとする。